



もくじ

こいびと——表紙の生産者をご紹介
安佐南区沼田町吉山
山本 真也さん 2

特集
JAの組合員資格
正組合員と准組合員の
違いってなあに? 4

●JAトピックス 6

まるごとJA [第10回]
購買事業 (住宅関連・くらし関連) 8

農の現場から⑩
湯来地区 10

松田麗子の
おなかいっぱい、幸せいっぱい
タマネギ 12

健やか生活相談室
知っていますか?
花粉症の対策方法 14

やさしい菜園プラン
トウモロコシ 15

●おしゃべり広場 16

●HAPPY SMILE 16

●クロスワードパズル 17

●JA広島市 情報BOX 18

●ひろしまる倶楽部 & こいぶみ
農家今昔物語 20



本誌タイトル「こいぶみ」とは、JA広島市の気持ちをまっすぐに、組合員をはじめ多くの人に届けるため、広報誌を手紙に見立てたところから命名いたしました。「こいぶみ」の「こい」には、人や地域を愛する「恋」のほか、多くの人に呼んでもらえる「来い」、情報が「濃い」など、さまざまな意味を込め表現しています。



豊かな自然の残るこの地で、
ずっと農業を続けていきたい。



パートのみなさんと。



JA広島市戸山支店のすぐ近く、14棟のビニールハウスで葉物野菜を生産している。



イギリスで見た農園風景。



若手農家のグループ「アットランド」に所属し、農業に関する知識や技術を共有している。



不純物の混じらない地下水で育ったミズナは、関東地方にも出荷されている。

こいびと——表紙の生産者をご紹介

山本真也さん (37歳)
安佐南区 沼田町吉山

若い農業経営者を育成する、ひろしま活力農業経営者育成事業。山本さんは、2009年に研修を受け、現在はビニールハウス14棟で葉物野菜を生産している。農業に関わるようになったきっかけや、これからのビジョンについて伺った。

イギリスの地で見た風景が
農業への道を志す原点

例年にならない寒波に見舞われた今年の冬。安佐南区沼田町にある山本さんの農園も、これまでにならぬほどの低温に見舞われた。予定通りに収穫できないこともあり、その対応に苦慮することも多かった。ただ、それが自然とともに歩むということ。

と。山本さんの農業の原点にもつながってくる。

大学で造園を学んだ山本さんは、2003年、学びを深めるためイギリスへ留学した。そこで、本場のイングリッシュガーデンだけでなく、自然と一体になった豊かな農地に心を動かされた。「自分も農業に関わってみたい」という思いを抱き帰国。群馬県や山梨県の農園で研修を積んだ。

さまざまな農業を知り、
自分に合ったものを選ぶ

今後は、今以上に作付面積を広げていくことを考えている。そのためには、より大きな体制づくりが必要だ。「農業に対する思いを共有できる方と一緒に進めていけたら」と思っています。若くて活気ある方と、農園を大きくしていきたいですね」

これから農業を志す人にメッセージを求めたところ、いろいろな農業を見つめることと返ってきた。「農業にはさまざまな進め方があります。多様な農業の姿を自分の目で見て、合う方法を見つけてください」

基本を守って
生み出されるミズナ

山本農園では、コマツナ、シュンギク、そして周年で生産するミズナが主力作物だ。特別にこだわっていることはない。草抜きや水やり、土づくり、基本的なおろそかにしないことで、いいものができると思っている。「午前中は収穫から袋詰めなどの調製作業、午後は種まきや草刈りなどの管理作業が中心。日が昇って日が沈むまで、まさに自然とともに歩んでいる感じです」

豊かな里山環境が残る沼田町吉山の地には、活力事業の紹介でやってきた。自然豊かな美しい環境、地元の人々の温かい人柄に魅了された。「消費地である広島市中心部にも近く、就農するにはピッタリの土地だと思いました。この先も、この地で長く

My History
マイ・ヒストリー

- 2003年 イギリスに留学。
- 2006年 帰国。農業研修を始める。
- 2011年 山本農園を開く。

My Hobby
マイ・ホビー

旅。自然を感じる場所が好き。

